

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (四国)	◎	－	－
	○	コンビニ（店長）	・まん延防止等重点措置が解除されると、次の感染再拡大までの間は景気が回復する。ワクチンの効果が現れるまではこの繰り返しである。
	○	衣料品専門店（経営者）	・現在、売上はコロナ禍で厳しい状態である。ただ、新型コロナウイルス感染症はそろそろ収束すると思うため、2～3か月後は今より景気が良くなると思う。
	○	衣料品専門店（経営者）	・バーゲンセール中ということもあるが、例年と比べ、コロナ禍であっても不思議なことに売上高は堅調である。今後も好調に推移するのではないかと期待している。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・お中元時期が終わり、売上は少し停滞気味であるが、2～3か月先については、新型コロナウイルス感染症は少し収まり、上がってくると思う。
	○	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の終息を祈るのみである。
	○	タクシー運転手	・ワクチン接種が普及し、新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきたら、夜の店の再開や、現在予約が入っている秋頃の遍路客についても期待できる。今の状況よりは良くなると思う。
	○	通信会社（営業担当）	・ワクチン接種率が向上し、市場が活性化すると考えられる。
	○	観光遊園地（職員）	・感染対策期での自粛等の実施により、感染者数が確実に減少していく。また、ワクチン接種も普及すると考えられる。
	○	競輪競馬（マネージャー）	・ワクチン接種率が高まり、医薬品の開発も進むことにより、社会に安心感が広まることが予想される。遊行施設への人出や一般消費購買力の回復が見込まれることから、景気は上向くと予想する。
	□	商店街（事務局長）	・新型コロナウイルスの変異株の感染脅威解消には大多数の国民がワクチン接種を2回終了することが条件となる。若年層や一定程度存在する接種拒否層への接種が進まなければ、今の状況が続くと思われる。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症のまん延状況と客の動向が非常に密接に関係しており、不透明な状況が続いている。また、個人客より団体客の動向に関係しており、厳しい状況が続くと思われる。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・新型コロナウイルス対策における行動自粛が解除になればもう少し改善されると思う。
	□	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、現状から抜け出すのは非常に難しい。
	□	百貨店（営業管理担当）	・全国的な新型コロナウイルスの感染再拡大の収束がまだまだ見通せず、先行きは不透明である。
	□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であり、予測が難しい。
	□	スーパー（店長）	・現状、乗客数や客単価の増加は若干期待できるが、短期的なものであり、長くは続かないと思われる。
	□	コンビニ（店長）	・今月は余りにも悪い状況が重なった。これ以上悪くなる事はないと思うが、決して良くなる気配もない。
	□	コンビニ（商品担当）	・助成金等がないのに休業要請を行うなど、政府の対応の悪さを感じる。
	□	コンビニ（総務）	・天候や気温、コロナ禍の状況にもよるが景気が良くなる要素は何一つない。
□	衣料品専門店（営業責任者）	・ワクチン接種が普及しても感染再拡大に歯止めが掛かるのかどうか分からず、外出の自粛が解除される見込みもないため、良くなるとは考えにくい。	
□	家電量販店（店員）	・半導体不足の影響により、納入数は減少傾向にある。	
□	乗用車販売業（営業担当）	・半導体不足の解消と新型コロナウイルス感染症の終息が見えない。	
□	乗用車販売店（従業員）	・半導体不足や製造工場の休業等、景気が改善する状況ではない。また、客の消費マインドも冷え込んでいる。	
□	乗用車販売店（従業員）	・9月以降も新型車の発売が予定されているが、半導体不足による減産計画もあり、登録台数の伸びには期待ができない。	

	□	乗用車販売店（役員）	・新型車が売れても既存の車種の販売が減少するため、総数としては変わらない。
	□	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・新型コロナウイルスの感染再拡大が収まらない限り、以前のような生活には戻れず、消費拡大など望めないのではないかと危惧している。
	□	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・コロナ禍の影響で外食が控えられているので、テイクアウト需要が伸びている。この先もこの状況は続くと思う。
	□	旅行代理店（営業担当）	・ワクチン接種が普及しているが、新規感染者が全く減少していないため、今後の営業展開が大きく変化する事はないと感じる。
	□	タクシー運転手	・当県でも8月末から9月上旬まで時短要請や、まん延防止等重点措置の適用により、人通りがなくゴーストタウン状態となっている。新型コロナウイルスの感染が収束しなければ人の動きはないと判断する。
	□	通信会社（社員）	・ワクチンの普及により、人々の動きは少し活発になると思うが、数か月ではまだ変化は小さいと考える。
	□	通信会社（営業担当）	・来客数は安定しているが、新型コロナウイルスはまん延している状況であり、良くなる要素に乏しく不透明である。
	□	美容室（経営者）	・今後は新型コロナウイルスの感染者数や報道内容によって人の流れがどうなるのか予測が付かない。
	▲	商店街（代表者）	・社会構造や消費者行動、物の価値観など、消費環境は大きく変化する。また、アフターコロナの経済体制や政策がどうなるか、度重なる自然災害にどう対応するかなど、短期に解決できない課題が山積している。
	▲	スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置の解除で、外食や大型ショッピングセンターへ客が戻っていく。
	▲	家電量販店（副店長）	・新型コロナウイルスの感染再拡大が全国に広がっており、収束する気配が感じられない。感染が収束しない限り、景気は戻ってこないと思われる。
	▲	一般レストラン（経営者）	・ワクチンが普及すれば、感染者数や重傷者数、死者数は相対的に減ってくると思う。ただ、何を基準にコロナ禍の収束とするのか、どこかで基準を決めなければ、いつまでもコロナ禍は収まらないと思う。
	▲	観光型旅館（経営者）	・秋の観光シーズンに向けた予約の時期となっているが、全国的な新型コロナウイルスの感染状況が改善していないので、予約が遅れている。今後、感染状況が改善したとしても時間的に期待水準まで戻らない。
	▲	通信会社（営業部長）	・前回のまん延防止等重点措置の時期と比べると、現段階では客の危機感は小さく購買意欲に大きな影響はないと感じるが、今後には不安を感じる。
	▲	通信会社（支店長）	・新型コロナウイルスの感染再拡大が続いており、収束の見通しが立たない。
	▲	美容室（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数の増加が影響してくると思う。
	▲	設計事務所（所長）	・第5波の影響によって、取り掛かっていた設備投資等を中断するところが出てきている。
	×	商店街（代表者）	・まん延防止等重点措置により、営業ができない状態となっている。全てのイベントが中止や延期となっており、商店街の活動も1か月程度は休止状態が続く。今年一杯で新型コロナウイルスの感染が収束するかどうか非常に心配している。
	×	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・今は最悪の状況である。希望としては年内に収まることを願っているが、この状況が継続すると思っており、好転することを祈るのみである。
	×	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・大型量販店や通販等で、まとめて買物をするせいか、専門店では本当に物が売れなくなっている。早く新型コロナウイルスの感染が収束して、不自由な生活から少しでも抜け出したいと願うばかりである。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の終わりが見えないなか、ゆっくり買物にも出られず悪くなるしかない。
企業 動向 関連  (四国)	◎	—	—
	○	木材木製品製造業（営業部長）	・大手ハウスメーカーからの受注が回復している。ただし新型コロナウイルスの感染再拡大により資材の安定供給が不透明な状態である。それに資材価格の高騰があり、利益を圧迫し始めている。
	○	鉄鋼業（総務部長）	・受注回復傾向だが、人員減少が続き、生産や販売が回復していない。

	□	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、引き続き飲食業や観光業の低迷が続くと推測する。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・除菌や掃除用のウェットクリーナーの売上は輸入物も多く横ばいである。新型コロナウイルスの影響で、家庭内で料理をする人が増えたため、キッチンペーパーの需要は高く、生産量を増やせば売上は上がる。フェイスマスクはインバウンドがなくなったため、売上が下がっている。
	□	化学工業（所長）	・現在の感染状況が落ち着いてくれば多少なりとも回復に転じるとは思うが、これから冬場を迎えるので、現時点ではなかなか楽観視はできないかと考える。
	□	一般機械器具製造業（経理担当）	・市場マインドは上向きつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響及び世界的な電子部品供給不足等による部品調達の遅滞や原材料価格の高騰等、不確定な要素が多いので、景気の先行きに懸念はある。
	□	電気機械器具製造業（経理）	・特需による販売が落ち着いている。
	□	建設業（経営者）	・公共事業は堅調に発注されており、事業活動については大きな懸念はないので、今後の新型コロナウイルス感染症の状況によると思われる。現時点では、生活や社会的活動への制限、自粛が緩和されるとは考えられず、景況感も変わらないまま推移するものと思われる。
	□	建設業（経営者）	・今後の公共工事次第である。
	□	輸送業（営業）	・ワクチン接種ははまだ全世代に達しておらず、若年層を中心に新型コロナウイルス変異株による感染が再拡大している。一方で、ワクチン接種済であってもブレイクスルー感染が危惧されることから、消費者の不安は解消されておらず、先行きは極めて不透明な状況に変わりはない。
	□	通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスの変異株の流行などにより、新型コロナウイルスの感染再拡大がいつ落ち着くのか分からないので、景気が良くなる見通しは立てづらい。
	□	通信業（企画・売上管理）	・東京オリンピック後、明るい話題は特に見当たらない。緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用などで、交通、レジャー関係は売上が下がり、巣籠り需要が増えることを考えると景気は変わらないと判断している。
	□	金融業（副支店長）	・ワクチン接種が進む中での感染再拡大に、消費者の絶望感が強まりつつある。しばらくは当該消費者動向の鈍化により、景気回復は見込めない。
	□	広告代理店（経営者）	・まん延防止等重点措置が適用されたため、一部の客では販売促進広告等が急きょ中止になった。新型コロナウイルス変異株の感染力が非常に強いため、客の今後の見通しも厳しく、早期の集団免疫を期待しているが、今後2～3か月は余り変わらない予想である。
	□	税理士事務所	・新型コロナウイルスへの有効な対策がまだまだ不透明である。
	▲	農林水産業（職員）	・新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、人流は更に減ることが見込まれる。また、天候は長雨が続いた後、晴天が続く予報であるが、長雨後の晴天続きは園芸品の生育に大きく影響することが過去の事例から予想される。単価は高値基調が続くだろうが、農家も出荷量減少で利益は上がらず、スーパー等を含め勝者なしの厳しい販売環境が見込まれる。
	▲	繊維工業（経営者）	・当社の愛媛の小売店舗は、週末は県外客でにぎわっていたが、社員の安全配慮により東京の小売店舗も併せて、8月末からしばらく店舗を閉める。感染者が落ち着くまでは、全国的に消費は更に厳しくなり減少するものと思われる。
	▲	輸送業（経理）	・工業製品の輸出数量は今月並みで推移するが、紙製品の出荷数量は、鉄道輸送において秋雨前線に伴う災害の影響を受け、数量減少が続く見込みである。
	×	輸送業（経営者）	・時間は掛かると思われるが、ワクチン次第である。
雇用 関連	◎	—	—
	○	—	—

(四国)	□	人材派遣会社（営業）	・飲食店や公共交通機関、公共施設等の感染状況によって今後も苦しい状況は続くと考え。一方で、各市町が実施する協力金や支援金、助成金等の補助を受給しながらいつまで経営活動を継続できるかが、景気回復の大きな鍵となる。また、協力金や支援金、助成金等の補助を審査し支払手続を行う運営側の人材活用とワクチン接種会場での医療従事者の人材活用がこの数か月景気に影響すると思われる。
	□	民間職業紹介機関（所長）	・新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない。
	▲	求人情報誌製作会社（従業員）	・飲食店が休業要請により安定した営業ができず、年末に向けた人材募集も見込めない。
	▲	職業安定所（職員）	・長引く新型コロナウイルスの影響による売上減や最低賃金増が予想され、2～3か月後は、やや景気が悪くなる。
	▲	職業安定所（求人開発）	・新型コロナウイルスの感染が再拡大し、当地域はまん延防止等重点措置が適用された。これにより、酒類の提供が終日禁止となるなど規制がより厳しくなったことから悪化要因になると判断した。
	▲	学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の爆発的増加に伴い、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用区域の拡大が懸念される。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が全国でますます増え、派遣会社に依頼する企業が少なくなりつつある。またサービス業などの派遣依頼の回復がみえず不安しかない。
	×	求人情報誌（営業）	・まん延防止等重点措置の適用により、人の移動や消費が大きく減り、企業の営業活動が縮小している。飲食や観光業界へのダメージが大きく、更に周辺業界にも影響を与えており、回復の見通しが立っていない状況である。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの感染者数の急激な増加により、あらゆる広告の機会が延期やキャンセルになっていて、感染状況が落ち着くまでは見通しが立たない。